



おはなしの

マッチばこ



私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまなお話を
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

4月のストーリーテリング勉強会

2012年4月11日(水) 午前9:30~12:00

主催:高知県立図書館 参加者:13人

次回の勉強会は

5月9日(水)

9:30~12:00 です

場所:当館3階小会議室

今月のおはなし

1. マメ子と魔物 7分

『こども世界の民話(上)』(内田莉莎子/〔ほか〕著 実業之日本社)より

【語り手から】全然練習できていなくてすみませんでした。

2. みにくいアヒルの子(途中まで) 14分

『子どもに語るアンデルセンのお話・2』(松岡享子/編 こぐま社)より

【語り手から】5月には、おしまいまで語ります。

3. 猿の生き肝 5分

『日本昔話百選』(稲田浩二、稲田和子/編著 三省堂)より

【語り手から】楽しかった。

4. こすずめのぼうけん 6分

『おはなしのろうそく13』(東京子ども図書館/編・発行)

【語り手から】この春、1年生に届けようと覚えました。家の前の保育園の生垣を一生懸命飛ぶ練習をするこすずめの様子が今も目に浮かびます。

5. 小さな赤いセーター 9分

『おはなしのろうそく8』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】話す前はゆっくりと思っていたけれど、少し急いでしまいました。

6. アディ・ニハアスの英雄 7分

『山の上の火』(クーランダー、レスロー/文 岩波書店)より

【語り手から】今年は高学年で語ることが多いので、使えるかなと思っておぼえました。

7. 大男 13分

『たのしいゾウの大パーティ』(パウル・ビーヘル/作 岩波書店)より

【語り手から】2~3年生への、絵本から読み物へのいざないのために。

8. クラバート伝説 15分

『烏賊 別冊』(烏賊の会別冊編集部)より

【語り手から】大好きなお話です。課題だった後半の場面をしっかりと描けるよう、気持ちをこめて語りました。“わかった”という感想を頂けてうれしかったです。

9. まめじかカンチルが穴に落ちる話 8分

『おはなしのろうそく8』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】いつも3年生のつけ足しのおはなしに使っています。子どもたちと、残された動物はこの後いったいどうなったか・・・などと話し合うのも楽しみです。

10. 風と私(詩) 3分

(自作)